

パワーポイントを使った読解の授業

－授業にパソコンの導入を図って－

氏名 三木 美穂

所属先 県立三田西陵高等学校

1 はじめに

本校は地元では中堅の普通科で、生徒のほとんどは進学を目指している。第2学年からは類型によるクラス編成を行っており、理系・国公立文系・私立文系に分かれて将来の進路を見据えた教科選択を行っている。落ち着いて学習に取り組める生徒も多いが、周囲に流されやすく指示待ちの傾向がある。

今回の授業対象クラスは、国公立文系型で、落ち着いて積極的に学習に取り組もうとする生徒が多く、予習や課題の取り組み状況も良い。しかし、おとなしいため、どの程度理解しているか、教師側が積極的に把握する必要がある。

2 課題の設定と研究計画

今回の課題は、パソコンを利用した授業を展開し、旧態依然とした授業からの脱却を少しでも図りたい、というものであった。実際はパソコンを使って教室で授業をするにはハード面での整備が遅れているが、整備されるのを待っていてはいつまでたっても実践することができない。そこで、パソコンを使用したときの「メリット」、①板書の時間の節約、②机間巡視時間の増加、③口頭で確認していた内容のスクリーン表示、を得られるよう授業を展開することを試みた。

3 授業実践、授業の振り返りと考察

◎ 授業展開（主に次の項目に基づき、パワーポイントを使用して授業を行った）

- ① 英文表示、モデルリーディング、コーラスリーディング
- ② 単語の発音、イントネーション、意味確認
- ③ 内容読解、文法事項の整理
- ④ 英文の意味確認

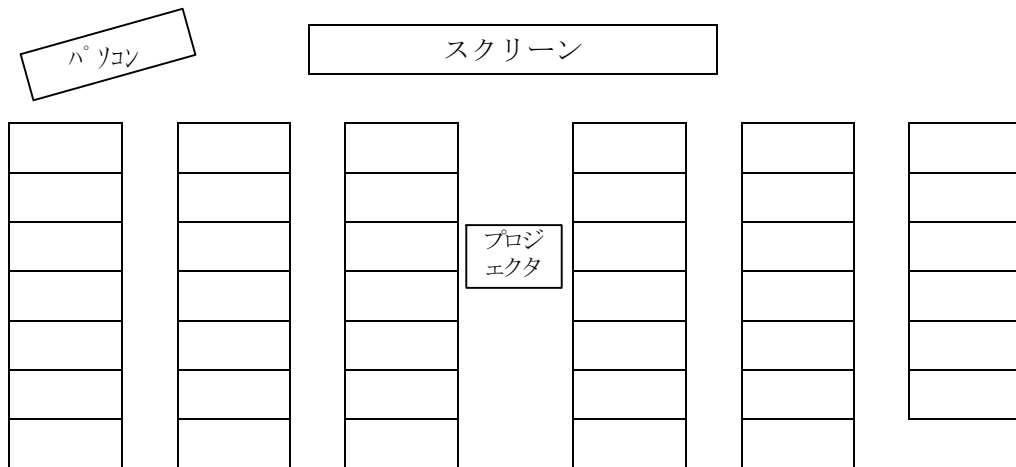
◎ 感想

板書の代わりにパソコンを使用したことにより、板書に費やしていた時間が節約され空白の時間が少なくなり、これまで口頭で確認していた単語の意味を表示して生徒の聞きもれがなくなったというメリットはあったが、授業運びや展開は旧態依然としており、教師側が一方的に進める講義形式であった。単調な授業運びとなってしまったので、授

業構成に工夫を加えるべきだった。

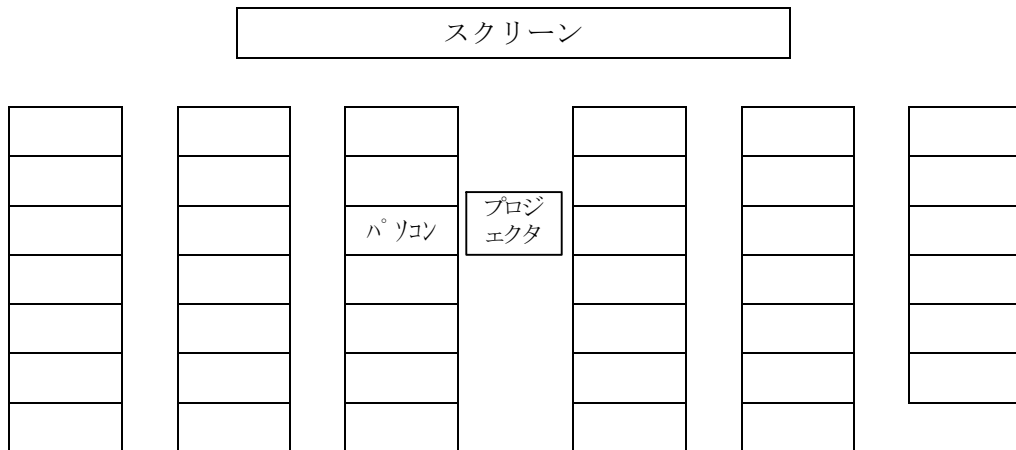
なお、心配していたスクリーン表示の見易さについては、プロジェクタの精度が良く、スクリーンの質や大きさ等もちょうど良かったので、教室が明るい状態のままでも十分見やすかった。ただし、スクリーンはもう少し高い位置に設定すべきであった。教室後方の生徒には、前方の生徒の頭が障害となってスクリーン下部が見えにくいものとなってしまったからである。

◎ 目標としていた教室配置



* 教師はワイヤレスマウスを使用して机間巡視をしながらパソコンを操作し、生徒の理解の度合いに気を配る。

◎ 実践授業での教室配置



* プロジェクタとパソコンをつなぐコードが短かったため、やむなく上記のような配置となった。また、ワイヤレスマウスを事前に用意することができなかったため、

教師はパソコンから離れることができず、メリットの2つ目、机間巡視時間の増加はならなかった。

◎ アンケート結果（回答38名）

1) パソコンを使った授業の内容は、使わないときと比べて

- ① 解りやすくなった ⇒ 10人
- ② 解りにくくなった ⇒ 6人
- ③ 変わらない ⇒ 9人
- ④ 解りやすくなったところと解りにくくなったところがある ⇒ 13人

2) パソコンを使った授業環境は

- ① 生徒にとってパソコンを使ってもらうほうが望ましい。 ⇒ 8人
- ② パソコンで授業をするにはもっと環境を整える必要がある。 ⇒ 21人
- ③ 生徒にとってパソコンを使った授業は時期尚早である。 ⇒ 2人
- ④ その他（具体的に書いてください） ⇒ 7人

3) 板書に比べるとスクリーンでの文字の見え方は

- ①見やすかった ⇒ 10人
- ②見えにくかった ⇒ 19人
- ③変わらない ⇒ 9人

4) その他、ご意見をお聞かせください。

- ・ 授業のスピードが速いのもっとゆっくりして欲しい。
- ・ 目が疲れた。
- ・ 先生が前にいたほうがよかった。
- ・ 先生が隣にいると気になり集中できないことがあった。
- ・ 先生と生徒で学んでいる気がしない。
- ・ 授業の準備が大変そう。
- ・ いつものやり方に慣れていたので（良さは）微妙だが、慣れたらOKかも。
- ・ 慣れるまで疲れると思う。集中できなかった。
- ・ 環境を変えてやるのはよかった。
- ・ パソコンでやる授業はわかりやすかった。
- ・ 訳とか単語とかの意味がずっとスクリーンに映っているので写しやすかった。
- ・ 文字は見やすかったが、下線や矢印は見えにくかった。色をもっと使ってほしい。
- ・ 先生の板書の手間が省けてよかった。
- ・ 先生にはチョークと黒板が似合っています。

4 まとめと今後の課題

今回のパソコンを用いた授業に関しては、大半の生徒が、興味を持って授業に臨んでくれたと思う。また、パソコンを使用したときのメリット、「板書の時間の節約」、「口頭で確認してい

た内容のスクリーン表示」、については、生徒自身もメリットとして受け止めてくれたようだ。

しかし、今回の授業ではパソコンを使用することに重点を置いたため、パソコン一色の授業となり、単調になってしまった。「よりわかりやすい授業展開の一方策としてパソコンを活用する」、という視点を持つべきであった。生徒を授業にひきつけ、効果的にパソコンを使用するには、もっと生徒自身の活動を増やし、板書も導入してメリハリをつける必要がある。

また、スクリーンやプロジェクタの設置を 10 分間の休憩時間内で行うのは非常に難しいので、早く全教室にスクリーンやプロジェクタが設置されなければ、パソコンを授業に取り入れる動きはなかなか進まないだろう。他に、教材の準備（パワーポイントのスライド作成）にかかる時間をいかに効率的に行うか、という問題もある。経験を積めば積むほど校務やそれにかかる責任も増してくるので、準備に時間がかかっていると続けていくことが難しいと思われる。

ハード面の整備はまだ先のことになるかもしれないが、授業展開や教材の工夫を重ねることで、これからもパソコンを授業に取り入れる努力を試みたい。

<参考文献>

<参考資料>